



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくりました

地元の声

- ・大雨の時でも、石や土砂が道路に流出しないようにしてほしい。（地域住民）
- ・道路上に落石等の障害物があると危険。安全に通行したい。（道路利用者）

事業前

- ◆斜面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩れにより道路が寸断するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

- ◆落石防護柵を設置し、落石等による緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



事業後の状況

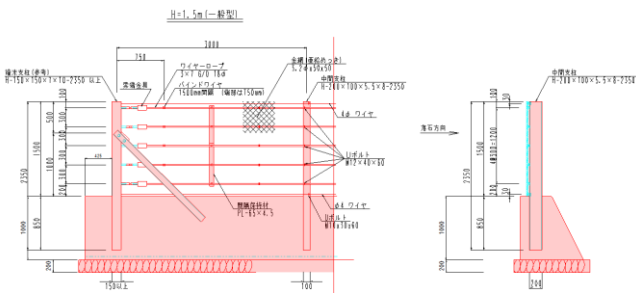
事業の概要

- 事業箇所：前橋市富士見町赤城山
- 事業内容：落石対策 2箇所
- 事業期間：令和2年度



事業の進捗状況（令和2年度完了）

落石防護柵標準構造図



今、何をしているか

令和2年度に落石対策が完了し、災害時における自動車等の安全な通行空間が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了